

令和6年度歳末期 商品量目等立入検査の結果について

1 検査の概要

(1) 実施期間

令和6年11月28日(木) ～ 令和6年12月11日(水)

(2) 実施日数

延べ10日間

(3) 検査人員

延べ28名

(4) 実施市町村

8市2町

(5) 実施事業所数

①量目検査

立入事業所数	量目立入検査対象外 (定期検査未受検)	量目検査実施事業所数
17	2	15

②質量計

立入事業所数	質量計立入検査対象外 (廃業等)	質量計検査実施事業所数
17	0	17

(6) 検査項目

適正な計量の実施を推進するため、次の項目について検査を実施しました。

- ・商品量目
- ・商品(内容量)の表記事項
- ・質量計(定期検査受検、使用状況)
- ・その他の必要な事項

2 検査結果の概要

(1) 商品量目

15事業所で量目検査を実施し、不適正事業所(各事業所での検査商品数に対する不適正率が5%を超える場合)が1事業所(6.7%)でした。

(2) 商品(内容量)の表記事項

15事業所で表記事項の検査を実施し、不適正な事業所はありませんでした。

(3) 質量計(定期検査受検、使用状況)

17事業所で質量計の検査を実施し、定期検査未受検が2事業所(11.8%)でした。

はかりの使用公差を超えている事業者が1事業所(5.9%)でした。

はかりの設置状況不備(水平又は、風及び振動の影響等)に対する指導は、4事業所(23.5%)でした。

(4) その他の必要な事項

法第10条に基づく正確計量の確保について、計量法関係ガイドライン、立入検査実施要領細則に基づく指導（啓発）を行いました。

3 検査成績

(1) 総合検査成績

検査事業所数	商品量目		表記事項		質量計（指導含む。）	
	不適正事業所数	不適正率	不適正事業所数	不適正率	不適正事業所数	不適正率
15件 (質量計17件)	1	6.7%	0	0.0%	7	41.2%

(2) 商品量目

① 量目検査成績

検査事業所数	不適正事業所数		量目検査成績						
			検査件数	指導基準を超える超過の件数		適正件数		量目公差を超える不足の件数	
	事業所数	不適正率		件数	不適正率	件数	不適正率	件数	不適正率
15	1	6.7%	585	4	0.7%	576	98.4%	5	0.9%

② 品目別検査成績

			検査事業所数	不適正事業所数	検査件数	量目検査成績					
						指導基準を超える超過の件数		適正件数		量目公差を超える不足の件数	
						件数	%	件数	%	件数	%
特 定 商 品	食肉	食肉	9	0	98	0	0.0	98	100.0	0	0.0
		食肉加工品	2	0	9	0	0.0	9	100.0	0	0.0
	魚介類	魚介類	12	0	88	0	0.0	88	100.0	0	0.0
		魚介類加工品	10	1	72	0	0.0	70	97.2	2	2.8
	野菜	野菜	10	1	105	1	1.0	102	97.1	2	1.9
		野菜加工品	—								
	農産物の漬物	—									
	果実	果実	6	0	18	0	0.0	18	100.0	0	0.0
		果実加工品	—								
	調理食品	調理食品	14	0	187	3	1.6	184	98.4	0	0.0
つくだに		1		3			2	66.7	1	33.3	

	その他の調理食品	—								
	穀類	—								
	穀類の加工品	—								
	その他の食品	1	0	3			3	100.0		
非	特定商品	1	0	2			2	100.0		
合	計	66	2	585	4	0.7	576	98.4	5	0.9

検査事業所数は、商品ごとの集計で実施事業所数とは一致しません。

③ 不適正の原因（品目毎の不適正原因件数）

		検査 件数	不適正		不適正原因別件数					
			件数	不適 正率 (%)	風袋量 設定 間違い	添え物 込み 計量	風袋引 き計量 未実施	自然減 量対策 不十分	その 他	
特 定 商 品	食 肉 類	食肉	98	0	0.0					
		食肉加工品	9	0	0.0					
	魚 介 類	魚介類	88	0	0.0					
		魚介類加工品	72	2	2.8	2				
	野 菜	野菜	105	2	1.9				2	
		野菜加工品	—							
	農産物の漬物		—	—						
	果 実	果実	18	0	0.0					
		果実加工品	—							
	調 理 食 品	調理食品	187	0	0.0					
		つくだに	3	1	33.3	1				
		その他の調理食品	—							
	穀類		—	—						
	穀類加工品		—	—						
その他の食品		3	0	0.0						
非特定商品		2	0	0.0						
合 計		585	5	0.9	3			2		

(3) 商品（内容量）の表記事項

検査事業所数	不適正事業所数
15	0

(4) 質量計（定期検査受検、使用状況）

① 成績

検査事業所数	不適正事業所数 (指導含む。)		検査台数	不適正事業所数 及び台数		指導事業所数 及び台数	
	事業所数	不適正率		事業所数 (台数)	不適正率 (%)	事業所数 (台数)	不適正率 (%)
17	7	41.1%	56	3 (11)	17.6 (19.6)	4 (7)	23.5 (12.5)

② 不適正の内訳

	検査台数	不適正計量器					指導計量器		
		不適正台数	不適正事由			指導台数	指導事由		
			%	証印無	未受検		器差	%	水平
電気抵抗線式	35	6	17.1		5	1	7	20.0	7
光電式	—								
ばね式指示	1	1	100.0		1				
誘電式	—								
自動包装値付	20	4	20.0		4				
その他	—								
合計	56	11	19.6	0	10	1	7	12.5	7

(5) 不適正商品に対する措置

① 量目公差を超えている商品については、全品再計量させ、風袋設定見直し等不適正原因の改善指導を行いました。

② その他正確計量確保のための指導

ア 定期検査に合格していない「はかり」を使用していた事業所

取引に使用できない旨を説明し、すみやかに定期検査を受けるなど必要な措置を講じるよう指導を行いました。

イ はかりが使用公差を超えていた事業所

使用しているはかりについて、使用公差を超えているため、取引に使用できない旨を説明し、速やかに修理、入替等の措置を講ずることとし、当該はかりについて使用しないよう指導を行いました。

ウ 風袋量が適正でなかった事業所

「はかり」に適正な風袋量を設定し、正確な計量に努めるよう指導を行いました。

エ はかりの使用方法についての指導を行った事業所

はかりの水平の確認、計量する前に零の確認、風袋量の確認等正確に計量するよう指導を行いました。